

令和 4 年度

市政モニターアンケート調査結果  
【長崎市における DX 推進について】



長 崎 市  
情報政策推進室

## 1. 調査の目的

長崎市では令和4年3月に「長崎市DX推進計画」を策定し、都市と行政のデジタル化を推進することで、住む人も訪れる人も、もっと快適で楽しめるまちを目指しています。今回の調査では、市民の皆様のデジタル技術の活用状況や意識を調査し、長崎市のデジタル化を推進するための新たな施策の検討に活用させていただくことを目的としています。

※ DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、情報通信技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるという概念

## 2. 調査の概要

調査期間：令和5年2月1日 ～ 令和5年2月14日

送付数：276人（郵送モニター 202人 インターネットモニター 74人）

回答率：83.7%（231人）

（郵送モニター 171人 インターネットモニター 60人）

## 3. 調査結果

### 【情報格差について】

今回の調査結果から、スマートフォンは、様々な用途に活用され、市民の暮らしに欠かせないデジタル機器となっていることから、スマートフォンを利用できる人とそうではない人との間に情報格差が生じないように、スマホ教室や相談会などのサポートする仕組みが必要であることが分かりました。

### 【オープンデータについて】

官民データ活用推進基本法において、自治体はオープンデータに取り組むことが義務付けられ、オープンデータの利活用によって市民参加・官民協働の推進を通じた諸課題の解決、経済活性化、行政の高度化・効率化等が期待されていることから、まずは、多くの市民や民間事業者にオープンデータの取組みについて知ってもらうとともに、民間事業者が持つデータも含め、どのようなデータが、地域の課題解決や市民生活の利便性向上につながるかについて、引き続き検討・研究していく必要があることが分かりました。

※ オープンデータとは、二次利用可能として公開されている情報のこと。

#### 【最新のテクノロジーについて】

情報政策推進室としては、今回の調査結果を受けて、デジタル技術への興味を深めたい市民に、多様な最新テクノロジーに触れられる場を提供するため、体験会や、市が主催するICTフェアの開催などを検討する必要があるとわかりました。

#### 【デジタル技術の学びについて】

20代から60代で半数以上がデジタル技術を学びたいと考えており、幅広い知識や情報を求めていることがわかりました。

一方で、学ぶ場が「ない」又は「わからない」と回答した人が多く、今後、市内でのセミナー開催やオンラインで学べる場を推進するような事業が必要とされているとわかりました。

### 4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100パーセントに合致しない場合があります。

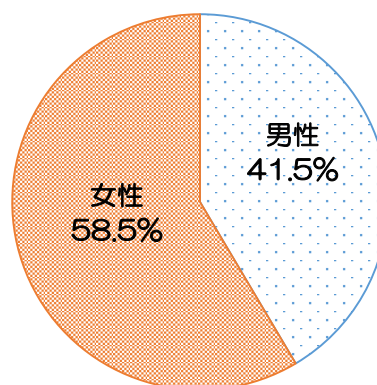
また、複数回答可とした設問においては、合計が100パーセントを上回る場合があります。

なお、回答者数の異なる問については、回答者の数を「N=〇〇人」で表現しています。

問1 あなたの性別をお答えください。

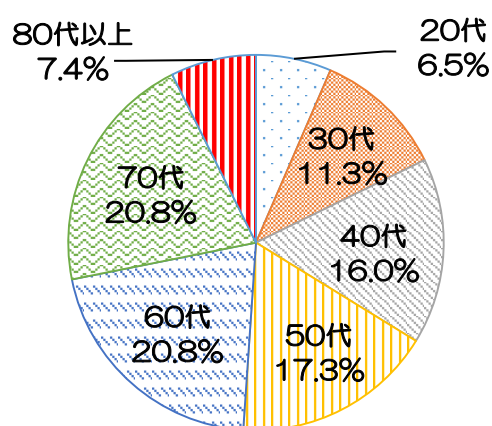
選択肢	回答者数	割合
男性	95人	41.5%
女性	134人	58.5%
合計	229人	100.0%

(無回答2人)



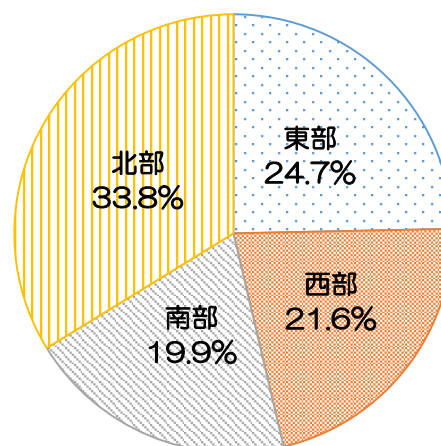
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	15人	6.5%
30代	26人	11.3%
40代	37人	16.0%
50代	40人	17.3%
60代	48人	20.8%
70代	48人	20.8%
80代以上	17人	7.4%
合計	231人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	57人	24.7%
西部	50人	21.6%
南部	46人	19.9%
北部	78人	33.8%
合計	231人	100.0%



※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

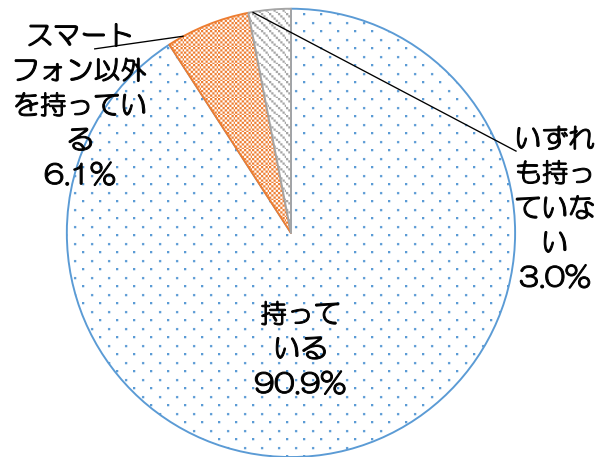
【情報格差対策について】

問4 現在スマートフォンを持っていますか。

(当てはまるものを1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
持っている	209人	90.9%
スマートフォン以外を持っている	14人	6.1%
いずれも持っていない	7人	3.0%
合計	230人	100.0%

(無回答1人)



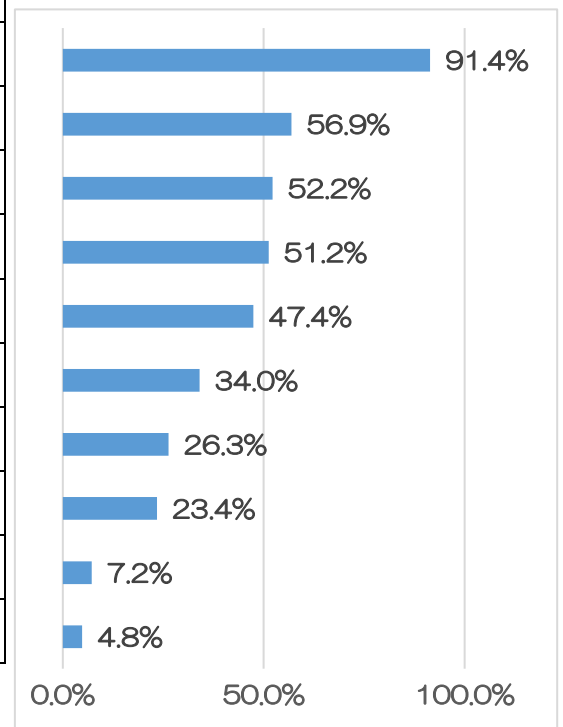
問5 「問4」で「持っている」と回答した方に質問です。どのような活用をしていますか。(複数回答可)

	回答数	割合
LINEなどのメッセージアプリ	191	91.4%
防災情報など様々な情報の取得	119	56.9%
オンラインショッピング	109	52.2%
ゲームや動画視聴	107	51.2%
キャッシュレス決済	99	47.4%
銀行の残高確認などアプリの利用	71	34.0%
Twitterなどの情報発信	55	26.3%
ZOOMなどのオンライン会議	49	23.4%
その他	15	7.2%
活用していないが、今後活用したい	10	4.8%

(回答者数 209人、有効回答数 825)

※その他の意見

- ・通話、通信
- ・ナビ
- ・ポイント利用
- ・高齢者身内の安否確認
- ・画像処理



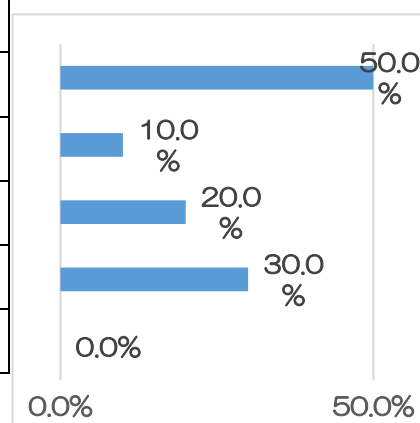
スマートフォンをお持ちの方が約9割（90.9%）を占めており、「LINEなどのメッセージアプリを使ったコミュニケーション（91.4%）」や「防災情報など様々な情報の取得（56.9%）」、「オンラインショッピング（52.2%）」、「ゲームや動画視聴（51.2%）」、「キャッシュレス決済（47.4%）」に、多く活用していることが分かりました。

一方で、スマートフォンを持っていない方（スマートフォン以外の携帯電話を持っている方を含む）が9.1%、また、スマートフォンを持っている方のうち、活用できておらず、今後活用したいと考えている方が4.8%いました。

問6 「問5」で「活用していないが、今後活用したい」と回答した方に質問です。スマートフォンの操作方法や活用方法について、頼れる人や場がありますか。（複数回答可）

選択肢	回答数	割合
ある（家族）	5	50.0%
ある（知人）	1	10.0%
ある（スマホ教室や相談窓口など）	2	20.0%
ない	3	30.0%
その他	0	0%

（回答者数 10 人、有効回答数 11）



問7 「問6」で「ない」と回答した方に質問です。

こういった場があれば、利用したいと思いますか。(複数回答可)

選択肢	回答数
携帯ショップ等で開催されるスマホ教室など	0
携帯ショップ等で開催される相談窓口など	0
公民館等の身近な公共施設で開催されるスマホ教室など	1
公民館等の身近な公共施設で開催される相談窓口など	0
自治会の集まりなどで実施される体験会や相談窓口など	0
その他	1
無回答	1

(回答者数3人、有効回答数3)

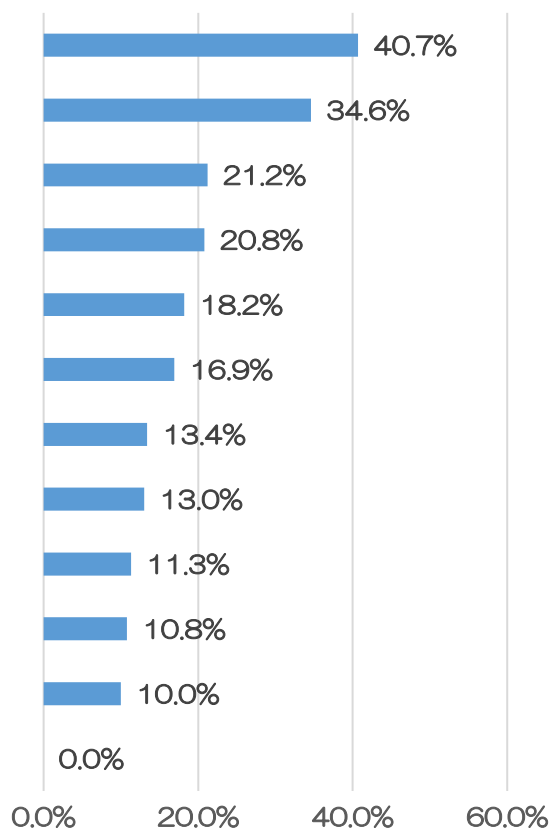
※その他の意見

- ・自分でなんとか利用する

回答数としては少ないですが、「頼れる人や場がない」と回答した人からは、公民館等の身近な公共施設で開催されるスマホ教室などが求められていることが分かりました。

問8 今後、知りたいことや活用したいことは何ですか。(複数回答可)

	回答数	割合
セキュリティ対策やトラブル対策	94	40.7%
防災情報など様々な情報の取得	80	34.6%
特にない	49	21.2%
LINE などのメッセージアプリ	48	20.8%
キャッシュレス決済	42	18.2%
銀行の残高確認などアプリの利用	39	16.9%
オンラインショッピング	31	13.4%
ZOOM などのオンライン会議	30	13.0%
Wi-Fi への接続方法	26	11.3%
Twitter などの情報発信	25	10.8%
ゲームや動画視聴	23	10.0%
その他	0	0%



(回答者数 231 人、有効回答数 487)

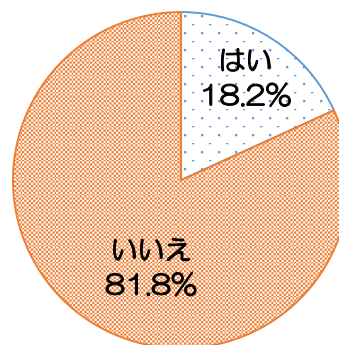
「スマートフォンについて知りたいことや活用したいこと(複数回答)」については、「セキュリティ対策やトラブル対策」が40.7%で最も多く、次いで「防災情報など様々な情報の取得(34.6%)」となっており、セキュリティやトラブルに対する意識や、情報収集に関心が高いことが分かりました。



【オープンデータについて】

問9 オープンデータを知っていましたか。(当てはまるもの1つ回答)

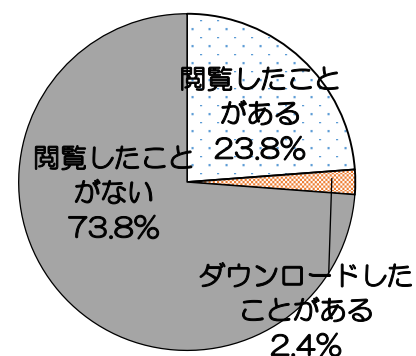
選択肢	回答者数	割合
はい	42人	18.2%
いいえ	189人	81.8%
合計	231人	100.0%



問10 「問9」で「はい」と回答した方に質問です。

長崎市が公開している「長崎市オープンデータカタログサイト」を閲覧したことがありますか。(当てはまるもの1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
閲覧したことがある	10人	23.8%
ダウンロードしたことがある	1人	2.4%
閲覧したことがない	31人	73.8%
合計	42人	100%

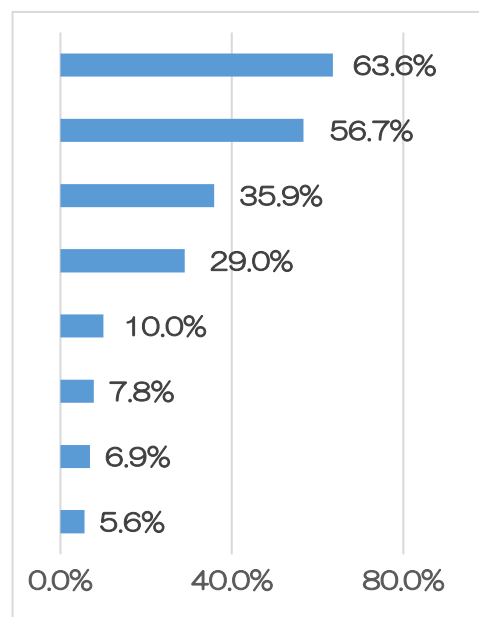


オープンデータを認知している人は18.2%であり、十分に周知できておらず、長崎市のオープンデータを公開しているホームページを閲覧したことがある又は、データをダウンロードしたことがある人は、26.2%にとどまることが分かりました。

問 11 どのようなオープンデータがあれば利用したいですか。(複数回答可)

	回答数	割合
路線バスの位置情報や遅延情報	147	63.6%
観光施設一覧	131	56.7%
長崎市の古写真、風景写真など	83	35.9%
公衆トイレ一覧	67	29.0%
小中学校通学区域情報	23	10.0%
その他	18	7.8%
学校給食献立情報	16	6.9%
利用しようと思わない	13	5.6%

(回答者数 231 人、有効回答数 498)



※その他の意見

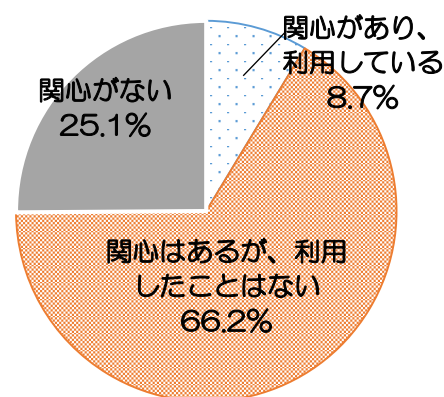
- ・雨の日でも児童が遊べる場所
- ・車いすユーザーが利用できるお店
- ・公衆電話一覧
- ・道路交通情報、渋滞情報
- ・ボランティア活動一覧
- ・災害情報
- ・病院情報
- ・企業や自治体のイベント情報
- ・駐車場情報

路線バスの位置情報や遅延情報 (63.6%)、観光施設一覧 (56.7%)、長崎市の古写真、風景写真 (35.9%) の順に多く、生活の利便性向上につながる情報や興味のある情報があれば、利用したいと考える市民が一定数いることが分かりました。

【最新のテクノロジーについて】

問 12 最新テクノロジーに関心はありますか。(当てはまるものを1つ回答)

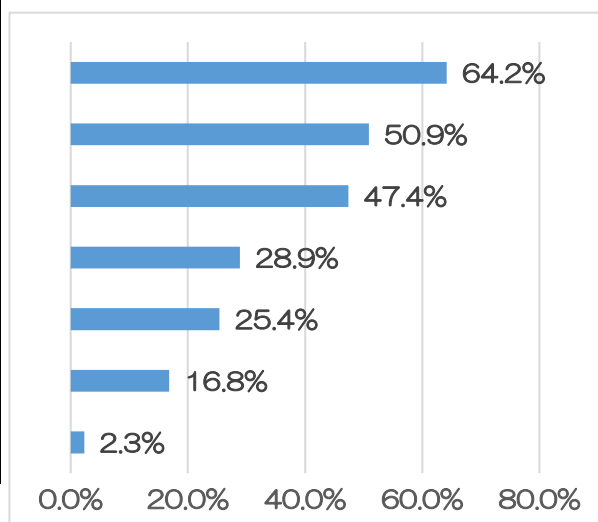
選択肢	回答者数	割合
関心があり、利用している	20人	8.7%
関心はあるが、利用したことはない	153人	66.2%
関心がない	58人	25.1%
合計	231人	100.0%



「関心があり、利用している」又は、「関心はあるが、利用したことはない」と回答した人が74.9%と、関心を持っている方が多くいることがわかりました。

問 13 「問 12」で「関心があり、利用している」又は、「関心はあるが、利用したことはない」と回答した方に質問です。どのようなテクノロジーに関心がありますか。(複数回答可)

	回答数	割合
ドローン	111	64.2%
VR	88	50.9%
3Dプリンター	82	47.4%
ロボット	50	28.9%
メタバース	44	25.4%
全天球型カメラ	29	16.8%
その他	4	2.3%



(回答者数 173 人、有効回答数 408)

※その他の意見

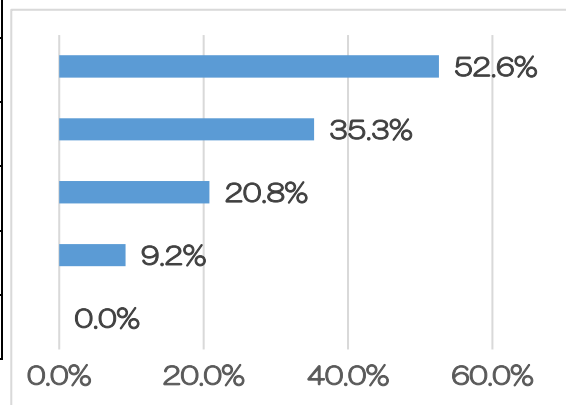
- 自動運転
- 定点交通情報
- AI

ドローン (64.2%)、VR (50.9%)、3Dプリンター (47.4%) の順に関心が高いことがわかりました。

問 14 「問 12」で「関心があり、利用している」又は、「関心はあるが、利用したことはない」と回答した方に質問です。「最新テクノロジーに触れる場として、どのような場があれば、利用したいですか。（複数回答可）

選択肢	回答数	割合
小規模な体験施設など	91	52.6%
大規模な展示会など	61	35.3%
地域のプログラミング教室など	36	20.8%
特にない	16	9.2%
その他	0	0.0%

(回答者数 173 人、有効回答数 204)



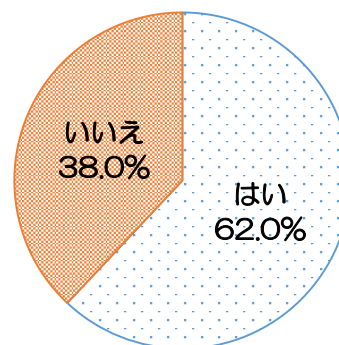
小規模な体験施設など（52.6%）、大規模な展示会など（35.3%）、地域のプログラミング教室など（20.8%）の順に関心が高いことが分かりました。

【デジタル技術についての学び】

問 15 デジタル技術について、新たな知識や技術を学びたいですか。

(当てはまるものを1つ回答)

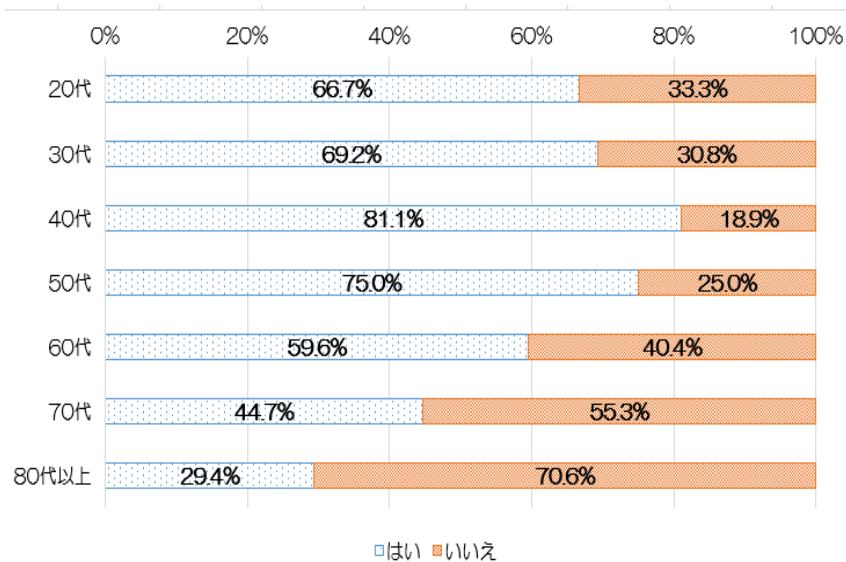
選択肢	回答者数	割合
はい	142人	62.0%
いいえ	87人	38.0%
合計	229人	100.0%



(無回答2人)

(参考) 年代別内訳

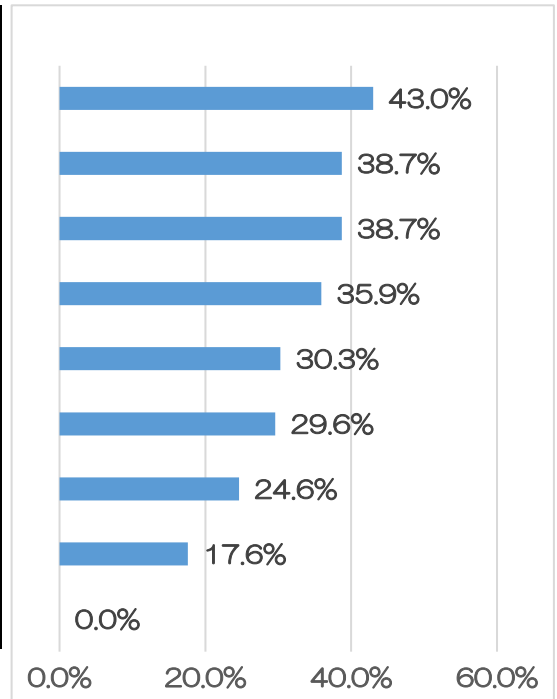
選択肢	はい	いいえ
20代	10人	5人
30代	18人	8人
40代	30人	7人
50代	30人	10人
60代	28人	19人
70代	21人	26人
80代	5人	12人
合計	142人	87人



「はい」と回答した人が62.0%を占め、学びたいと考えている人が多いことがわかりました。年代別では40代が81.1%、50代が75%で、他の世代に比べ学びたい人が多いことがわかりました。

問 16 「問 15」で「はい」と回答した方に質問です。どういったものを学びたいですか。(複数回答可)

	回答数	割合
セキュリティ	61	43.0%
プログラミング	55	38.7%
エクセル等の操作	55	38.7%
ホームページ作成	51	35.9%
デザイン	43	30.3%
AI や RPA	42	29.6%
クラウド	35	24.6%
デジタルマーケティング	25	17.6%
その他	0	0%



(回答者数 142 人、有効回答数 367)

(参考) 年代別内訳

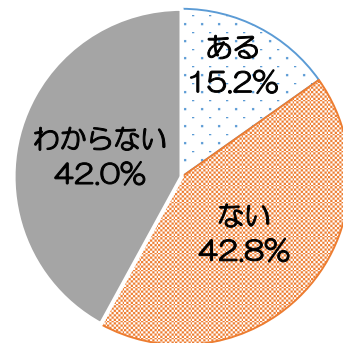
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
セキュリティ	3	6	15	12	17	6	2	61
プログラミング	7	11	9	10	8	8	2	55
エクセル等の操作	5	7	12	8	13	7	3	55
ホームページ作成	4	8	10	7	12	9	1	51
デザイン	4	5	10	13	7	4	0	43
AI や RPA	3	9	10	7	8	4	1	42
クラウド	2	8	9	8	4	3	1	35
デジタルマーケティング	2	5	7	6	3	2	0	25
その他	0	0	0	0	0	0	0	0

セキュリティ (43.0%)、プログラミング (38.7%)、エクセル等の操作 (38.7%)、ホームページ作成 (35.9%)、デザイン (30.3%) の順に高い関心があり、世代別に関心の高い分野に違いはありますが、全体として幅広い知識や情報を求めていると分かりました。

問 17 「問 15」で「はい」と回答した方に質問です。新たな知識や技術を学ぶ場はありますか。(当てはまるものを1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
ある	21人	15.2%
ない	59人	42.8%
わからない	58人	42.0%
合計	138人	100.0%

(無回答4人)

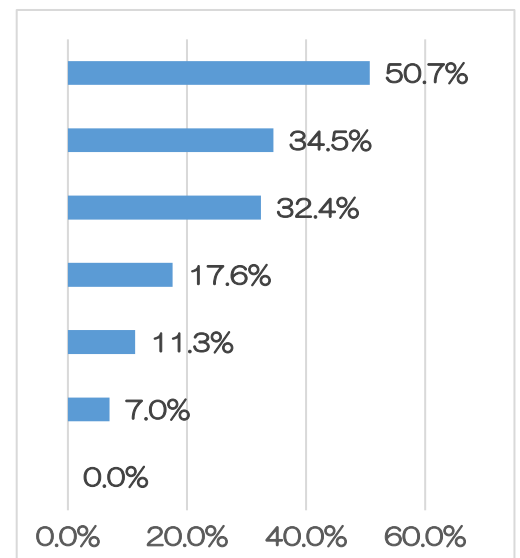


「ない」又は、「わからない」と回答した人が84.6%を占め、学びたい人がすぐに学べる環境がないか、情報を持っていないことがわかりました。

問 18 「問 15」で「はい」と回答した方に質問です。どういった場で学びたいですか。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
市内で開催されるセミナー等	72	50.7%
オンライン動画の視聴	49	34.5%
オンラインで開催されるセミナー等	46	32.4%
書籍	25	17.6%
通信教育	16	11.3%
夜間大学・学校等	10	7.0%
その他	0	0%

(回答者数 142 人、有効回答数 218)



(参考) 年代別内訳

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
市内で開催されるセミナー等	4	6	18	12	18	12	2	72
オンライン動画の視聴	6	8	13	10	9	3	0	49
オンラインで実施されるセミナー等	4	7	15	10	4	5	1	46
書籍	1	5	4	3	7	3	2	25
通信教育	0	2	7	2	4	0	1	16
夜間大学・学校等	1	3	4	1	1	0	0	10
その他	0	0	0	0	0	0	0	0

市内で開催されるセミナー等が 50.7%と最も多く、次いで、オンライン動画の視聴（34.5%）、オンラインで開催されるセミナー等（32.4%）の順に多いことがわかりました。